

先端医療振興財団収支計画(平成17年度～平成21年度)

(単位:百万円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
収入合計	6,171	6,542	6,489	6,657	6,697	6,739
診療収入	1,382	1,820	1,902	2,049	2,068	2,089
公的研究費	2,578	2,295	2,295	2,295	2,295	2,295
基金取崩収入	1,560	1,550	1,550	1,550	1,550	1,550
TRI施設管理収入	170	170	-	-	-	-
その他収入	481	707	742	763	784	805
支出合計	6,756	6,822	6,489	6,578	6,612	6,647
人件費	1,316	1,458	1,388	1,406	1,424	1,442
研究経費	2,541	2,297	2,247	2,247	2,247	2,247
経費・材料費	1,657	1,755	1,700	1,771	1,787	1,804
TRI施設管理経費	142	158	-	-	-	-
機器リース料	575	629	629	629	629	629
建物賃借料	525	525	525	525	525	525
収支差引額	585	280	0	79	85	92

平成16年度は補正後予算。平成17年度は当初予算。平成18年度以降は見込。

前提条件

- 入院患者数は17年度以降1日平均48人(病床利用率は80%)、外来患者数は、外来部門の最有効利用を図るものとして、PET検診を除き17年度は1日平均36人、18年度以降1日平均40人で計画した。
- 診療報酬改定の影響については、過去の改定率について、当施設での影響を検討し、収支に影響を及ぼさないものとした。
- 診療収入の増要因として、現在実施または実施予定している臨床研究で、早期に臨床応用が見込めるものについて、収支差を計上している。(19年度～)(下肢血管再生医療、歯槽骨再生医療、4Dリニアック治療)
・PET検診事業は19年度にフル稼働する計画とした。なお、本収支計画では、先端医療センターのPET部門の最有効利用を図るものとして、17年度が3,225件/年、18年度が5,250件/年、19年度以降6,750件/年として算定した。
- 公的研究費は、平成17年度分を研究費獲得の目標とした。
- TRIは、平成18年度に指定管理者制度が導入されるものとした。
- 神戸市からの研究開発支援基金への造成額は、据え置きで計上した。
- 人件費は、効率化の要素を勘案して定期昇給率を1%とした。
- 機器リース料は据え置きとし、リース期間満了後、機器更新を行う前提とした。